

2026年3月25日

伊田テクノス株式会社に対する 「むさしのポジティブ・インパクト・ファイナンス」の取扱いについて

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、2026年3月25日（水）、伊田テクノス株式会社（代表取締役社長 檜崎 亘、東松山市）に対し、「むさしのポジティブ・インパクト・ファイナンス」の取扱いを行いましたので、お知らせします。

「むさしのポジティブ・インパクト・ファイナンス」では、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が策定した「ポジティブ・インパクト金融原則」に基づき、お客さまの事業活動が経済・環境・社会に与える影響を総合的に評価（インパクト評価）し、プラスの影響（ポジティブインパクト）の最大化およびマイナスの影響（ネガティブインパクト）の軽減を目指す目標を設定します。当行ではあわせて、取組状況のモニタリングや各種コンサルティングサービス提供など目標達成に向けた伴走支援を通じ、お客さまのサステナビリティ経営を後押しします。

伊田テクノス株式会社は東松山市を拠点に100年以上に亘り、豊かで安全な地域社会を支えてきた総合建設事業者です。

創業以来の柱である土木工事をはじめ、公共・商業施設や住宅建設などにおいて豊富な実績と高い技術を有しており、近年は先進的なICT・DX技術を採用入れることで、建設業における生産性向上の取組みを先導しています。

また、埼玉県認定職業訓練校「伊田テクノカレッジ」での人材育成など人的資本経営に注力するとともに、太陽光発電によるクリーンエネルギー創出や業務のペーパーレス化推進といった環境負荷軽減に積極的に取り組んでいます。

今般のポジティブ・インパクト・ファイナンスでは、同社の社会課題解決の取組みを一層加速するべく、インパクト評価に基づき、「ICT施工の推進により、インフラ整備の業務効率化を図り、受注拡大を図る」「仕事と暮らしの調和がとれた働きやすい職場環境を整備する」「CO₂排出量削減への取組み推進」の3テーマのもと目標を設定し、その達成を目指していきます。

1. 企業概要

企業名	伊田テクノス株式会社
代表者	代表取締役社長 檜崎 亘
所在地	埼玉県東松山市松本町2-1-1
事業内容	総合建設業

次ページへ

2. ポジティブ・インパクト・ファイナンスの概要

(1) 契約内容等

契約締結日	2026年3月25日(水)
融資金額	300百万円
融資期間	5年
資金使途	運転資金
インパクト評価	株式会社 ぶぎん地域経済研究所
第三者評価機関	株式会社 格付投資情報センター (R&I)

(2) 特定したインパクトと測定するKPI

	テーマ	目標/KPI	関連するSDGs
経済・社会面	ICT施工の推進によりインフラ整備の業務効率化を図り、受注拡大を図る	<ul style="list-style-type: none"> 2031年6月期までにインフラ整備にかかる工事施工高を4,840百万円以上にする。 	 
社会面	仕事と暮らしの調和がとれた働きやすい職場環境を整備する	<ul style="list-style-type: none"> 2031年6月期までに社員一人当たりの月平均残業時間を13.0時間にする。 2031年6月期まで毎期、年次有給休暇6日以上の取得率100%を継続する。 2031年6月期までに年次有給休暇の平均取得日数を14.0日とする。 2031年6月期まで毎期、施工管理技士合格(取得)者数45名以上を継続する。 	 
環境面	CO ₂ 排出量削減への取組み推進	<ul style="list-style-type: none"> 2031年6月期までに本社における紙の使用量を2025年6月期比20%削減する。 2031年6月期までに本社における廃棄物処分量を2025年6月期比1.8%削減する。 	

https://www.musashinobank.co.jp/corporate/pif/pdf/achievements_260325.pdf

以上

報道機関からのお問い合わせ先
 法人コンサルティング部 崎谷 健史・原 祐太
 TEL (048) 641 - 6111 (代)